

鳥海の子

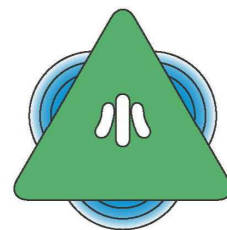
～明るく・かしこく・たくましく～

令和5年度 学校報 No.27 文責 校長 安齋 知子

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校

令和5年11月10日



鳥海だから 学べること たくさん 創立10周年記念式典 挙行!

前日のおそうじは一層丁寧に取り組み、校舎に感謝の思いを表しました。玄関ホールには、鳥海小学校、鳥海地区に関する学習の一部を掲示して皆様をお迎えしました。由利本荘市長 湊貴信様をはじめとする47名の来賓、66名の保護者の皆様をお迎えして鳥海小学校創立10周年記念式典を挙行了しました。



式典の始まりは地域の保存会のみなさんと一緒に発表する民俗芸能の発表です。発表途中で拍手が沸き起こるほど、会場が惹きつけられました。「学校が地域の文化の継承の場になっている」「地域の方と子どもたちが一緒に民俗芸能を演じている」「鳥海小だからできること」などと式典後にたくさんのお褒めの言葉をいただきました。

表現するのが苦手という子どもが少なくない本校なので、発表する達成感を体験させたく**全校群読「鳥海小学校ありがとう、おめでとう」全校の歌「愛の花」を披露**しました。全校群読の台詞には鳥海音頭の歌詞を引用したり、子どもたちが考える鳥海小学校の魅力を言葉や動作にしたり、今の自分と未来の自分をつなぐ台詞を入れたりと内容を工夫して練習もがんばりました。

記念式典中にはあいさつが4人も続き、低学年の子どもには、うとうとしたりジッとできなくなったり苦しそうな姿も見られましたが、全校群読、全校の歌、校歌に入るとピシッと全員全力で鳥海小学校に祝いと感謝の気持ちを表してくれました。そんな様子もとてもほほえましく感じたところです。

飛鳥祭でも披露した「愛の花」ですが、歌うたびに子どもたちが伸びやかに、歌詞に気持ちを乗せて表現するようになりました。練習中には「せっかく84人が声をそろえるのだから響きを楽しみましょう」と指揮の佐藤理恵子先生から助言がありました。きっと式典では子どもたちは自分たちの歌声の響きを楽しんで感じたことでしょう。歌を聴いて思わず涙していた私ですが、多数の来賓の方々も感涙していたそうです。そのくらい子どもたちの思いが会場のみなさんに届いたのだと改めてうれしくなりました。

創立10周年を記念して、児童全員に記念誌と記念クリアファイルを配付しました。この日の思い出と共に大事にいただければ幸いです。記念事業実行委員の皆様、駐車場係にご協力いただいた皆様をはじめ多くの皆様のご協力がこの日を迎えることができました。皆様に心よりお礼申し上げます。



高野栞キャスターからの問いかけ ～「好き」を知ること～ 記念講演会から

由利本荘市石脇出身でNHK「ニュースこまち」キャスターの高野栞さんによる講演は、知らず知らず「自分の好きって何だろう」「好きがどんな風に自分の生き方を支えてくれるのだろう」と自問自答する時間になりました。鳥海にゆかりのある高野キャスターが「おじいさんとおばあさんが暮らしていた鳥海には、よく遊びに来ていた」「鳥海が自然・星空が好き」、そして、「『好き』が縁となり現在の自分に至ること」を講演しました。高野キャスターが会場に「みなさんの好きを教えてください」と振ると、挙手する人が続きました。その一つ一つに質問したり、うなずいたり、コメントしたりと、受け止めて話してくれる気さくな高野キャスターに会場全体が惹きつけられました。講演会の後に、吉尾**先生とは高校の同級生となじみということで、6年生教室に飛び入り参加してくれた高野キャスターでした。



講演会に参加した来賓の方々からは「自分の好きなことも考えてみた」「高野キャスターのおじいさん、おばあさんに、この話を聞かせたかった」などの感想とともに「鳥海の子どもはこんなに自分のことを話せるようになったんだなあ」とお褒めの言葉もいただきました。



やっぱり鳥海のそばはおいしい！！ 地域の皆さま ご協力ありがとうございます

11月7日（火）に直根学習センターにて、直根小学校元校長の板垣**先生をそば打ちの講師にお迎えして直根栄寿会、スクールサポーターズクラブ、学習ボランティアの皆さまと共に、3・4年生がそば打ち体験学習を行いました。そば粉を愛おしそうに打ち、できあがりの太さを気にしながらそばを切りそろえ、できたてのそばをいただきました。



終わりの会では、3年生と4年生が、これまでのお礼のメッセージを発表し、各学年のダンスを披露して感謝の思いと地域に皆様に届けました。そばの種まきからここまでご協力くださった全ての皆様に感謝申し上げます。